

EGG SHAPED FORM



「かわす性能」には自然界最強のフォーム「卵形」が重要だとアライは考えます。卵は自然界で生まれた外敵から身を護る形になっていて衝撃を分散する「かわす性能」が活かされる形状をしています。卵は殻が壊れたら終わり。壊れないように長年をかけて今の形がつけられています。

そんな自然界最強のフォームにリスペクトをおいて真似ることと「かわす性能」をアライは高めています。人の頭は卵形ではなく、ヘルメットにすると衝撃緩衝ライナーの厚みを確保するのが難しかったり、シェル強度を保つのが難しかったりします。卵形を維持しながらシェルを小さく、コンパクトに仕上げ、規格の性能要件を満たすことは大変難しいことです。

卵形は、

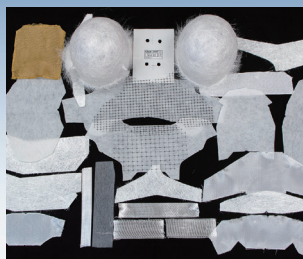
自然界最強フォーム。

アライヘルメットではシェルの材料を独自に組み合わせたり、アライヘルメット独自の多段階発泡一体成形ライナーを組み合わせています。

やらないよりやった方が良い小さな違いを積み重ねて卵形にこだわって「かわす性能」を追求し、誇りある職人によってヘルメット(作品)がつけられています。

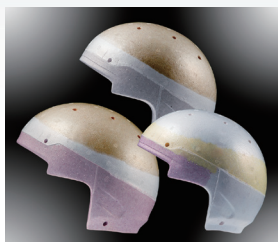
つくり手の「より護れるようにしたい」という意志が卵形のフォームをカタチにしています。

アライヘルメットだからこそできる、このこだわりを手にとってあなたも感じてみませんか？



◀通常のガラス繊維と比較するとコストは6倍以上と非常に高価ながら、剛性、弾性率とも30%以上高い独自のスーパーファイバーを主体として使用した強靱なシェル

▶衝撃の加わる面積に合わせて、それぞれに適した硬度の異なる発泡体を一体成形したアライ独自のライナー



卵形に近づけることによって規格クリアが難しい

シェル
ライナー

人頭模型

四隅のライナーの厚みが確保しにくく、試験クリアが厳しくなる。

規格をパスしやすい形状

人頭模型

人頭模型

試験用の人頭模型に近いフォームになれば試験はパスしやすいが、全体が四角くなってしまふ。

四隅の厚みを確保しつつフォーム全体を卵形に近づけようとする、全体が大きくなってしまふ。